

石綿（アスベスト）含有建材の特徴

建 材 名（一般名） （通 称）	石綿含有ルーフィング
規 格 等	

製造期間

- ・製造開始は、1937年である。
- ・製造終了は、1987年である。

建材の特徴

○性質、寸法、形状など

- ・形状：ロール状
- ・色：黒
- ・特徴：石綿が含有されているか否かの識別は極めて困難である。

○主な施工部位、使われ方など

- ・屋根防水材として、主に RC 造の建物の屋上に施工されるアスファルト防水層の構成材料として用いられた材料である。アスファルト防水層はアスファルトルーフィングを溶融アスファルトで数回張り重ねていくことで作られます。
- ・アスファルト防水には歩行用と非歩行用があり、歩行用は防水層の上に押えコンクリート等を打設し屋上を積極的に利用するもので、非歩行用は砂付きルーフィング仕上げになり、原則的にその上を活用することはできません。

○その他

- ・アスベスト含有建材には石綿含有ルーフィングの他に接着材やその関連副資材があります。

1. 接着材 主にアスファルトシングルと呼ばれる勾配屋根の仕上げ材を下地及び下葺き材に張り付ける時に用いられます。
2. 関連副資材 この中にはアスファルト防水層の端部（張り仕舞い）処理として用いられたアスファルトルーフコーティングや断熱材を下地に張り付けるために用いた接着材並びに断熱材の面材として石綿を含有するものが使われていました。
これらの情報に関しましては、アスファルトルーフィング工業会（ARK）がそのホームページに情報公開を行っておりますのでこちらをご参照ください。